

# まちに開いた交流の場のデザイン

## -住宅地の価値を上げる-



## 地域に開かれた空間「CASACO」の新たな使い方の提案

野毛山公園の裏の住宅地にある「CASACO」は、二軒長屋を改修し、2Fをシェアハウス、1Fを地域に開いた場として2016年4月にオープンしました。このプロジェクトでは、地域の価値向上を目指して1Fの場の使い方を提案し、運営者の了解を得られれば実行していきます。学生は完全ボランティアでもなく、「稼ぐ」ビジネスを立案するものでもなく、中間の方法で活動を行い、全国に広がりつつあるソーシャルビジネスの方法論を実践を通して学ぶ活動です。

昨年度途中に、提案を通して地域の中のCASACOのあり方を考えることを目的として、学生団体「YOKOCO（ヨココ）」を発足させ、YOKOCOの複数の班で活動を展開しました。

《ヨココレストラン》食を通してCASACOを訪ねてきた人々を繋ぐことを目的として、7月と9月に開催しました。レストランは学生と地域の方の交流の場としても反響を得ました。

《DIY》地域の「ものづくり」が得意な人を発掘することを目的とし8月に実施しました。

《キャンドルナイト（CASACO主催）》地域のシンボルである急坂を中心に12月に開催したイベントで、キャンドルを見に来る人を導くことを目的として、紙灯籠のWSを行いました。

《カサコミーティング》学生とカサコメンバーとの意見交換の場であり、2か月に一回程度行いました。地域の方も参加できるよう、イベント中に行う試みもしました。

2年目を迎え、昨年度よりも様々な使い方を試みることができましたが、大学のサークルとのコラボイベントなど実行に至らなかったアイデアもありました。CASACOや地域の方との意見交換をより積極的に行い、今後も引き続き地域の価値を上げる活動を継続していきたいと考えています。

■学生：19名（小川哲志、酒井慧士、徐駿、木村夏輝、小山晴也、松重美穂、阿部ほなみ、坂田直哉、田辺みのり、豊永摩奈、石井優歩、莪山香奈、黒川春香、酒井実那、鈴木雄斗、高橋彩音、張叶橋、皆川しずく、山内彩愛 / 担当教員：江口亨）

■連携・協力：CASACO（カサコ）